

# 事業例

## ○北九州市立思永中学校整備PFI事業

発注者	北九州市(福岡県)	施設概観
施設概要	中学校(プール・屋内運動場・道場) 大学院・地域連携センター(民間収益事業)	 <p style="text-align: right;">出典: 九電工HP</p>
事業内容	老朽化した思永中学校(プール・屋内運動場・道場)の改築・維持管理業務	
事業期間	約17年間(管理運営は15年間)	
VFM	23.7%	
契約金額	約31億円(税込)	
実施方針公表	平成18年2月27日	
特徴	<p><b>【学校施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校のプールは、通年利用が可能な屋内温水プールとして整備・運営。</li> <li>・授業時間以外は、市民に開放。</li> </ul> <p><b>【収益施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業地のうち、学校施設用地を除く範囲(1,140㎡以内)に定期借地権を設定し、民間事業者が独立採算により、民間収益事業のための施設整備、維持管理及び運営を行う。</li> <li>・定期借地(50年): 大学院・地域連携センター</li> </ul>	

# 事業例

## ○京都市立学校耐震化PFI事業

発注者	京都市(京都府)	施設概観	
施設概要	小学校2校、中学校2校、高校1校 耐震工事対象棟:10棟 定期点検対象棟:19棟	 <p>銅駝美術工芸高等学校:①・②棟 外観</p>	 <p>京極小学校:ピタコラム工法</p>  <p>京極小学校:KTB・PCaPC外付けフレーム耐震補強工法</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強計画の作成</li> <li>・耐震補強工事</li> <li>・建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備の定期点検 等</li> </ul>	 <p>銅駝美術工芸高等学校: 外観保持等のため事業者提案に基づき内部補強</p>	 <p>伏見住吉小学校:ピタコラム工法</p>
事業期間	5年3か月	出典:京都市資料	
VFM	23.7%(落札時)		
契約金額	約8.7億円(税込)		
実施方針公表	平成22年3月30日		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの学校の耐震化を一括・短期間で実施。</li> <li>・耐震補強が大規模、高価等のため、民間事業者のノウハウを活用して、より適切な補強方法で耐震化を実施。</li> <li>・民間資金を、耐震補強業務費のうち国庫補助金及び起債充当分を除いた一般財源分(概ね耐震補強業務費の12.5%)について活用することにより、初年度の自己財源負担のない事業実施及び財政負担の平準化が可能。</li> </ul>		

# 事業例

## ○(仮称)新文化センター整備運営事業 (稲城市立 i(あい)プラザ)

発注者	稲城市(東京都)	施設概観	
施設概要	ホール:410人、楽屋、スタジオ、会議室、ギャラリー、創作室、図書館、印刷室、保育室 等		
事業内容	施設の設計、建設、維持管理及び運営業務		
事業期間	約22年		
VFM	約9%(特定事業選定時)		
契約金額	約69億円(税抜)		
実施方針公表	平成18年5月15日		
特徴	<p><b>【収益施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の提案により、収益事業を目的とする施設(セルフコンビニエンスストア・学習塾)を設置。</li> <li>・事業用地のうち、収益施設に必要とされる部分について、事業者は貸付料を市に支払う。</li> </ul>		

出典:稲城市HP